

わくわく本だな 9月号

富山市立図書館

今月のおすすめ



= 1・2年
= 3・4年
= 5・6年

- あたらしくはいった本の中から、おすすめの本をしょうかいします -

「つぶときつねのはしりっこ」 (えほん) いしだ としこ / 作 アスラン書房



しっぽがじまんのあかぎつねは、田んぼのどろの中ではいまわっているつぶ(タニシ)をからかいました。おこったつぶと、きつねはいいあそびになり、二ひきは、はしりっこをして、勝負することになりました。

「衣世梨の魔法帳」 那須 正幹 / 作 ポプラ社

衣世梨は4年生の女の子。学校の帰り、もこもこの毛をしたおかしな子犬をひろった日から、ふしぎなことがおこりはじめました。同級生の公平がなくした自転車^{じてんしゃ}をさがしているときに、小鬼^{こおに}があらわれたのです。でも、それは衣世梨にだけ見えていたのです。



「アナベル・ドールと世界一いじわるなお人形」

アン・M・マーティン&ローラ・ゴドウィン / 作 偕成社



アンティーク人形のアナベルと、プラスチック製の人形ティファニーは親友です。ある日、持ち主の女の子のバッグの中に、ぐうぜんかくれたことで、二人は人間の学校に行くことになりました。再びバッグにもぐりこみ、家にもどるはずだったのですが、まちがって別の家についてしまいます。しかもそこには、ものすごくいじわるなお人形がいたのです!

「ずら~りキンギョ ならべてみると・・・」 高岡 昌江 / 作 アリス館

ずら~りならんだ、18種類のきんぎょたち。目玉も口もいろいろで、みんなちがう顔をしています。せびれやおびれの形もちがうから、泳ぎかたもさまざま。赤ちゃんキンギョもせいぞろいして、楽しくて色あざやかな、キンギョの写真絵本です。



あたらしくはいった本

えほん



「わすれんぼうのはりねずみ」 竹下 文子 / 作 あかね書房

はりねずみのハリーは、とってもわすれんぼう。ある日、なかよしのポーちゃんから、たんじょうパーティにまねかれました。「ぜったいわすれずにいかなくちゃ」ハリーは「ポーちゃん、たんじょうび」と、なんども声にだしていってみました。

「へいき へいき」 内田 麟太郎 / 作 講談社

クマもこしをぬかしたという、こわい木のはえている山に、オオカミとイタチがいきました。さいしょにであったのは、はなちょうちんをふくらましたねいき、つぎは、カップとおよいでいるみずかきです。山でふたりがであうのは、たいやきやてまねきなど、こわいどころかおかしな木ばかりでした。

ものがたり



「ふうたんのうんどうかい」 戸田 和代 / 作 ポプラ社

うんどう会の日のあさ、かけっこのにがてなふうたんは、いやいや家を出ました。すると、学校へ行くとちゅうで、ウサギやキツネがつぎつぎとあらわれました。ふうたんがはやくはしれるように、みんないろいろと、てだすけしようとするのですが...

「ルルとララのカップケーキ」 あんびる やすこ / 作 岩崎書店

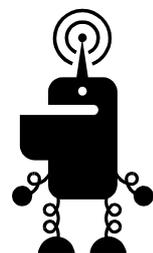


かえでの森のメープル^{どお}通りに、小さなおかしやさんがオープンしました。店長は小学生の女の子、ルルとララです。さいしょの日のおきゃくさんは一ぴきのねずみだけでした。ところが、つぎの日のあさ、みせのまえに、大小とりどりのカップがおいてありました。ねずみが、森じゅうにしらせたおかげで、どうぶつたちがカップケーキを注文したのです。

「ロボママ」 エミリー・スミス / 作 文研出版

ジェームズの^{ははおや}母親は、大きな会社でロボットの^{けんきゅう}研究をしています。頭はいいけれど家事はまるっきりダメ。そこで、^{あたま}苦手な家事をすべてまかせるために、ロボットのママを作りました。おかげでジェームスは、^かロボママと^{もの}買い物に行くはめに...

はたして、ロボットに人間のかわりができるのでしょうか？



「**図書室のルパン**」

河原 潤子 / 作 あかね書房

亜里沙は「世界の大かいとう」という本を図書室でかりました。けれども、同級生の春樹から「男の本や」とからかわれたため、中を読まずに返してしまいました。ところが、しばらくして、本が返却されていないといわれてしまいました。

一方、図書委員の優子は、たしかに亜里沙が本を返しにきたことをおぼえていましたが、その後、本をどうしたのかを思い出せませんでした。本は図書室から消えてしまったのでしょうか？



「**あぶくアキラのあわの旅**」

いとう ひろし / 作 理論社

アキラは、竜のもよりの紙に包まれたへんなせっけんを使って、お風呂に入りました。するとおそろしいことに、からだは、ただのあぶくのかたまりになって、下水に流されてしまったのです。もとの人間にもどるためには“ドラドン”をたいじしなければなりません。

「**プールにすむ河童の謎 ~ 緑川事件簿 ~**」

緑川 聖司 / 作 小峰書店

圭太が、「塾の帰りに、学校のプールから河童が出てくるのを見た」と言いました。新聞部の恭子たちは、記事にするためにさっそく調査を始めます。やがて、アメリカから転校してきた推理マニアの相馬が、先月、近所でおこった宝石盗難事件と関係があるのではないかと思いつきました。

ちしきの本



「**虫たちのふしぎ**」

新開 孝 / 作 福音館書店

虫はよくみるとへんな生き物です。頭についている触角ひとつとっても、いろいろな形をしています。口、足、羽など、虫たちの体の様々な部分を、アップでとらえた写真が楽しい本です。虫たちのふしぎな世界をじっくりのぞいてみませんか。

「**震度7 ~ 新潟県中越地震を忘れない ~**」

松岡 達英 / 作 ポプラ社

「2004年10月23日、午後5時56分。

ガタガタガターツという下から突き上げるようなものすごいゆれを感じた。突然、ダンプカーが家にぶつかったようなはげしい衝撃を受け、上下左右にゆさゆさとゆさぶられた。」

作者の生々しい体験と、地震後に避難した人々の様子が、絵と文章でくわしく綴られています。





9がつのこよみ



まだまだ暑い日が続きますが、夜には虫たちの歌が聞こえる季節になりました。
長雨や台風のときこそ、じっくり本を読んで、新しい二学期をスタートしましょう。

《 きょうは何の日？ 》

9月1日

関東大震災がおこった日

9月2日

「指輪物語」の作者、
トルキンがなくなった日



【 秋の七草 】クイズ

ススキ、キキョウ、クズ、
オミナエシ、ナデシコ、ハギ
さて、あと一つは何？

9月3日

未来からやってきたネコ型ロボット
ドラえもののたんじょう日

9月5日

マザー・テレサがなくなった日

9月21日

「雨ニモマケズ」「銀河鉄道の夜」で有名な、



宮沢賢治がなくなった日

9月23日

昼と夜の長さが同じになる、秋分の日

図書館しょうかい!

- 大山図書館の巻 -

ゆたかな自然にかこまれた図書館です。

緑の景色をながめながら、ゆったり読書ができます。

本や紙しばいのほかに、ビデオやCDも貸し出しています。

また、館内には“恐竜の足あと化石”が展示してあります。

恐竜の本もたくさんあるので、ぜひみにきてね!



子ども会

毎月第4土曜日 ごぜん10:00~11:00

えほんの読み聞かせとかんたんな工作をしています。

